

平成24年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	4. 職員研修事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	2. 人事管理費	担当所属	総務課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独		11,083	43	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	380	11,126
本年度当初査定額		

財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	380						10,746
本年度当初査定額							

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 新たな行政課題に的確に対応し、秩序ある市政の発展を計画的、継続的に推進できる職員の養成を目指し、「佐倉市人材育成基本方針」に基づき、各種研修を充実させ実行する。</p> <p>研修は、1. 研修担当部門研修 2. 派遣研修 3. 職場内研修 4. 自主研修 の4本を柱として実行する。</p>	<p>(事業の目的) 職員の仕事に関する知識、技術、対人能力、課題発見・解決能力などの向上を目的とし、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を図る。</p>	<p>(事業の効果) 職員研修によって職員的能力アップが図られ、問題解決能力や政策形成能力などの充実が望める。</p> <p>また、広い視野と豊かな見識を持ち、市民のニーズを的確にとらえ、敏感に対応できる職員の育成により、柔軟で弾力的な組織づくりが可能となる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 市民ニーズの複雑多様化により、高度な事務執行能力が求められてきており、職員研修の内容の選定により注意を払わなければならないようになってきている。</p> <p>階層別で研修を行っているが、全階層に均一に研修を行い、短時間で均一な能力アップを図ることは難しい。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 健康管理講演会委託料を、職員厚生事業から職員研修事業へ移管した。</p>	<p>(見積についての特記事項) 社会の新たなニーズを的確にとらえ、時代の要求する公務員像を実現するために、研修内容を十分精査する必要がある。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
08	689	696	△7
09	1,268	1,301	△33
11	284	234	50
12	4	4	0
13	6,449	6,395	54
19	2,432	2,453	△21

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	10	05	市町村職員中央研修所研修生派遣経費助成金	380		640	△260
差引一般財源								10,746		10,443	303